

留学体験記

マカオ大学 交換留学生 リンシホウ

留学期間 2018年9月～2019年8月

私は高校を卒業する前に大学で何の専門を選ぶかをあまり考えていなかった。新しい知識を得たいと思った。自分が昔から日本のドラマ、音楽、バラエティー番組などが好きで、次第に日本語と日本文化について好きになった。そのため、私はマカオ大学の中であまり人気がない専門「日本研究」を選んだ。自分の専門は4年生に1年間の交換留学というプログラムがあるので、とてもいい経験ができると思った。外国語の専門を選んだので、留学を目指して、一生懸命頑張ってきた。

家族から離れて、長時間一人で暮らすのは初めてだった。経験がないから、最初はとても期待していた。新しい生活を過ごしてみたいと思った。しかし、私はすぐに生活と旅行の違いを分かった。全部日本語を使う環境で、授業には追いつかず、何でも自分でしなければならないため、ストレスを感じた。しかし、サークルに入った後に友達をたくさん作れて、皆でよく話したり、遊んだりして、会話がよくなつた。次第に日本の生活は面白くなつていった。

鹿児島に来てからの第一印象は自然環境が豊かで、住みやすい都市と思った。自分は自然が好きだから、暇な時に海辺と山に行って、静かな大自然の中で景色を見ながら写真を撮つた。そのような場所で心が癒された。学校は小さいが、学生と先生の関係がいいと思った。自分の高校時代を思い出した。皆が留学生としての私に対して優しかった。

最初を思い返すと、留学は夢だった。1年間はとても長いと思っていたが、今は時間が速すぎて、帰りたくない感じている。帰国したら大学の生活も大体終わり、社会人になる。その前に、このような貴重な時間を過ごすことができて、大変楽しかった。

ここでの1年間に様々な気持ちを味わい、成長したと思う。日本で得られる経験はお金では絶対に買えない。将来、また様々なチャレンジがあると思うが、諦めないで目標に向かって頑張っていく。1年間で出会った皆さんのおかけです。私は心から感謝の気持ちを伝えたい。本当に感激した。今後、機会があれば、また会いましょう。

